



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月31日

上場会社名 キーウェアソリューションズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3799 URL <https://www.keyware.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三田 昌弘
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 広報IR室長 (氏名) 北川 久美子 (TEL) 03-3290-1111
 四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家およびアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	9,459	5.4	143	641.5	332	95.5	233	34.0
2023年3月期第2四半期	8,975	3.6	19	△72.6	170	△3.3	174	25.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 250百万円(44.1%) 2023年3月期第2四半期 174百万円(37.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	29.00	—
2023年3月期第2四半期	21.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	11,293	7,966	70.5
2023年3月期	11,153	7,807	70.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 7,966百万円 2023年3月期 7,807百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	4.3	800	8.3	1,000	8.5	700	45.0	86.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	9,110,000株	2023年3月期	9,110,000株
2024年3月期2Q	1,059,061株	2023年3月期	1,070,061株
2024年3月期2Q	8,044,327株	2023年3月期2Q	8,033,819株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、2023年11月14日に機関投資家およびアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算補足説明資料は、開催日当日に当社ホームページに掲載する予定です。また、説明会の模様および説明内容(動画)については、2023年11月17日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
3. その他	11
(受注の状況)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症へ引き下げられるなど、社会経済活動の正常化が進むなかで、緩やかに持ち直しの動きがみられました。一方で、ウクライナ情勢などの地政学的リスクや世界的な金融引き締めを背景とした海外景気の下振れリスクに加えて、資源価格の高騰や円安による物価上昇が進行し、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループが属する情報サービス産業につきましては、本年10月に経済産業省が発表した2023年8月の特定サービス産業動態統計(確報)によれば、売上高合計は前年同月比7.7%増と17ヵ月連続で前年を上回ったほか、売上高の半分を占める「受注ソフトウェア」も前年同月比10.4%増と17ヵ月連続で前年を上回りました。

このような事業環境のもと、当社グループは、2023年3月期より5ヵ年中期経営計画「Vision2026」をスタートし、「基盤事業の質的転換」「プライムビジネス*の拡大」「新領域へのチャレンジ」の3つの基本方針のもと、事業拡大と高収益化の実現に向けて取り組んでおります。

5ヵ年中期経営計画「Vision2026」の2年目となる当連結会計年度は、「基盤事業の質的転換」に向けて、引き続きプロダクトやクラウドサービスなどの活用拡大や、2021年に資本業務提携を締結した3社(株式会社JR東日本情報システム、兼松エレクトロニクス株式会社、キャノンマーケティングジャパン株式会社)との連携の強化、請負案件の拡大、不採算案件の抑制等の取り組みを進めました。「プライムビジネスの拡大」に向けては、デジタルトランスフォーメーション(DX)の実現に向けた需要を取り込むべく、基幹システム刷新やデジタル化支援などの提案活動を推進したほか、業務プロセスの改善や最適なソリューションを提案できるコンサルタントの育成に取り組みました。また本年9月、新たなサービスとして「乗務前確認サービス Powered by LifeRoute」の提供を開始しました。本サービスは、ドライバーに対して乗務前に実施する酒気帯び確認業務などの一元管理を可能としたクラウド連携サービスです。道路交通法施行規則の改正(2023年12月施行)に伴う需要増加を見込み、積極的な営業活動を展開しております。「新領域へのチャレンジ」に向けては、昨今、対策の重要性が高まっているサイバーセキュリティ領域や、今後拡大が見込まれるデジタル金融領域などにおいて、事業機会の創出に向けた取り組みを進めております。

※ 当社グループでは、お客さまと直接契約を結びサービスやソリューションを提供する事業を「プライムビジネス」と称しております。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の受注高は10,293百万円(前年同期比548百万円増、5.6%増)、売上高は9,459百万円(同484百万円増、5.4%増)、営業利益は143百万円(同124百万円増、641.5%増)となりました。営業外収益として持分法による投資利益197百万円を計上したことなどにより、経常利益は332百万円(同162百万円増、95.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は233百万円(同59百万円増、34.0%増)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

① システム開発事業

受注高は7,035百万円(前年同期比535百万円増、8.2%増)、売上高は6,408百万円(同674百万円増、11.8%増)、営業利益は233百万円(同30百万円増、15.1%増)となりました。

受注高につきましては、前年同期において大型案件の獲得があった運輸系が反動減となったものの、官庁系、公共系での既存案件拡大、医療系での案件獲得に加え、2022年7月に設立しシステム開発事業に含めたキーウェア東北株式会社が2023年1月にいわぎんリース・データ株式会社のシステム部門の事業を承継し事業を本格稼働させたことなどにより、前期比で増加いたしました。売上高につきましては、キーウェア東北株式会社の事業開始による純増に加え、公共系において前期に受注した大型案件の開発が順調に進捗したことなどにより、前期比で増加いたしました。営業利益につきましては、売上高の増加などにより、前期比で増加いたしました。

② S I 事業

受注高は2,480百万円(前年同期比130百万円増、5.5%増)、売上高は2,310百万円(同75百万円減、3.2%減)、営業損失は32百万円(前年同期は86百万円の損失)となりました。

受注高につきましては、基幹システム系での新規案件獲得などにより、前期比で増加いたしました。売上高につきましては、前期から継続している基幹システム系案件の開発収束や顧客都合により一部大型案件の受注時期が遅れたことなどが影響し、前期比で減少となりました。損益面につきましては、売上高の減少などが影響し損

失計上となったものの、前期から継続していた不採算案件が収束したことなどにより、前期比で損失を縮小させることが出来ました。

③ その他事業

受注高は777百万円(前年同期比117百万円減、13.1%減)、売上高は740百万円(同115百万円減、13.5%減)、営業損失は44百万円(前年同期は86百万円の損失)となりました。

受注高および売上高につきましては、サポートサービス系などが軟調に推移し、前期比で減少いたしました。損益面につきましては、売上高の減少などが影響し損失計上となったものの、販売費及び一般管理費の抑制などに努めた結果、前期比で損失を縮小させることが出来ました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

① 流動資産

流動資産残高は、7,371百万円(前連結会計年度末比2百万円増、0.0%増)となりました。主な変動要因は、現金及び預金の増加、売掛金の減少、契約資産の増加であります。

② 固定資産

固定資産残高は、3,921百万円(前連結会計年度末比137百万円増、3.6%増)となりました。主な変動要因は、投資有価証券の増加であります。

③ 流動負債

流動負債残高は、2,945百万円(前連結会計年度末比69百万円減、2.3%減)となりました。主な変動要因は、買掛金の減少、短期借入金の増加、未払法人税等の減少であります。

④ 固定負債

固定負債残高は、381百万円(前連結会計年度末比51百万円増、15.7%増)となりました。主な変動要因は、繰延税金負債の増加であります。

⑤ 純資産

純資産残高は、7,966百万円(前連結会計年度末比158百万円増、2.0%増)となりました。主な変動要因は、利益剰余金の増加であります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,373百万円(前連結会計年度末比335百万円増、32.3%増)となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金は、持分法による投資利益の計上(197百万円)、仕入債務の減少(183百万円)、未払消費税等の減少(163百万円)、法人税等の支払い(184百万円)などがあつたものの、税金等調整前四半期純利益の計上(332百万円)、売上債権の減少(476百万円)などにより、168百万円の増加(前年同四半期は386百万円の増加)となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金は、無形固定資産の取得による支出(36百万円)などにより、34百万円の減少(前年同四半期は35百万円の減少)となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金は、短期借入金の純増(300百万円)、配当金の支払い(99百万円)により、200百万円の増加(前年同四半期は224百万円の減少)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において2023年5月12日に公表いたしました内容から変更はありません。

なお、当社グループの事業特性として第4四半期に認識される収益の割合が高くなる傾向にあるため、第2四半期連結累計期間の損益は、通期の業績予想から相対的に低くなる傾向にあります。

ウクライナ情勢やイスラエル情勢などの地政学的リスクにつきましては、現時点において当社グループの事業および業績全体に与える影響は軽微であると考えております。しかしながら、当初の予想を超えた状況悪化等により当社グループの事業へ重大な影響が生じた場合には、その状況および影響度合いについて速やかに開示を行うことといたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,038,580	1,373,863
受取手形、売掛金及び契約資産	6,086,449	5,625,359
電子記録債権	15,143	—
商品及び製品	10,938	87,895
仕掛品	10,695	22,695
その他	211,342	265,758
貸倒引当金	△4,211	△3,769
流動資産合計	7,368,938	7,371,803
固定資産		
有形固定資産	100,484	97,415
無形固定資産		
のれん	189,847	174,921
その他	297,328	296,813
無形固定資産合計	487,175	471,734
投資その他の資産		
投資有価証券	3,007,150	3,172,755
その他	189,998	180,102
貸倒引当金	△482	△45
投資その他の資産合計	3,196,666	3,352,813
固定資産合計	3,784,327	3,921,963
資産合計	11,153,265	11,293,766

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,098,329	914,937
短期借入金	—	300,000
未払法人税等	214,604	76,725
賞与引当金	714,943	686,437
受注損失引当金	4,161	6,092
その他	983,203	961,534
流動負債合計	3,015,242	2,945,727
固定負債		
退職給付に係る負債	195,286	195,301
資産除去債務	121,899	122,894
その他	12,883	63,742
固定負債合計	330,069	381,938
負債合計	3,345,312	3,327,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,737,237	1,737,237
資本剰余金	757,936	758,807
利益剰余金	5,894,469	6,027,832
自己株式	△629,076	△622,578
株主資本合計	7,760,566	7,901,299
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,416	66,780
退職給付に係る調整累計額	△1,030	△1,979
その他の包括利益累計額合計	47,386	64,800
純資産合計	7,807,952	7,966,100
負債純資産合計	11,153,265	11,293,766

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	8,975,445	9,459,987
売上原価	7,643,241	7,854,806
売上総利益	1,332,204	1,605,180
販売費及び一般管理費	1,312,811	1,461,380
営業利益	19,392	143,800
営業外収益		
受取利息	7	7
受取配当金	1,586	1,897
持分法による投資利益	145,758	197,755
その他	25,436	20,634
営業外収益合計	172,789	220,295
営業外費用		
支払利息	907	697
支払手数料	7,264	30,680
投資事業組合運用損	6,083	—
損害賠償金	5,000	—
その他	2,856	154
営業外費用合計	22,111	31,532
経常利益	170,071	332,563
税金等調整前四半期純利益	170,071	332,563
法人税等	△4,042	99,271
四半期純利益	174,113	233,291
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	174,113	233,291

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	174,113	233,291
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,093	16,777
持分法適用会社に対する持分相当額	△7,202	636
その他の包括利益合計	△108	17,414
四半期包括利益	174,004	250,705
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	174,004	250,705
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	170,071	332,563
減価償却費	28,429	46,810
のれん償却額	10,654	14,926
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△47,545	1,931
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△806	△879
受取利息及び受取配当金	△1,594	△1,905
支払利息	907	697
持分法による投資損益 (△は益)	△145,758	△197,755
売上債権の増減額 (△は増加)	816,060	476,234
棚卸資産の増減額 (△は増加)	64,716	△88,958
その他の資産の増減額 (△は増加)	△78,784	△48,852
仕入債務の増減額 (△は減少)	△448,582	△183,391
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△32,324	△28,505
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	14
未払消費税等の増減額 (△は減少)	20,139	△163,686
その他の負債の増減額 (△は減少)	70,852	139,039
その他	8,211	△33
小計	434,646	298,248
利息及び配当金の受取額	55,378	55,689
利息の支払額	△909	△682
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△102,753	△184,459
営業活動によるキャッシュ・フロー	386,361	168,796
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,600	△4,282
無形固定資産の取得による支出	△46,216	△36,964
投資有価証券の売却による収入	1,500	7,363
その他	11,397	△217
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35,919	△34,100
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△125,000	300,000
配当金の支払額	△99,550	△99,413
財務活動によるキャッシュ・フロー	△224,550	200,586
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	125,891	335,282
現金及び現金同等物の期首残高	910,386	1,038,580
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,036,278	1,373,863

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	システム 開発事業	S I 事業	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への 売上高	5,733,975	2,385,274	856,195	8,975,445	—	8,975,445
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	205,635	—	70,710	276,345	△276,345	—
計	5,939,610	2,385,274	926,905	9,251,791	△276,345	8,975,445
セグメント利益 又は損失(△)	202,525	△86,737	△86,739	29,048	△9,655	19,392

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△9,655千円は、セグメント間取引消去および各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	システム 開発事業	S I 事業	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への 売上高	6,408,929	2,310,088	740,969	9,459,987	—	9,459,987
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	143,584	—	92,416	236,000	△236,000	—
計	6,552,513	2,310,088	833,385	9,695,987	△236,000	9,459,987
セグメント利益 又は損失(△)	233,017	△32,046	△44,845	156,124	△12,324	143,800

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△12,324千円は、セグメント間取引消去および各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

(受注の状況)

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 自 2023年4月1日 至 2023年9月30日			
	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
システム開発事業	7,035,731	8.2	4,717,812	11.5
S I 事業	2,480,136	5.5	1,352,350	△5.6
その他事業	777,886	△13.1	299,843	△4.1
合計	10,293,754	5.6	6,370,006	6.6

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。